

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/06/01		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587018101	科目番号 / Subject code	05870181
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12921_005		
授業科目名 / Subject	環境と社会生活 (環境と社会運動)COC+ / Environment and Social Movements		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	保坂 稔 / Hosaka Minoru, 関 陽子 / Seki Yoko, 友澤 悠季 / Tomozawa Yuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	保坂 稔 / Hosaka Minoru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	保坂 稔 / Hosaka Minoru, 友澤 悠季 / Tomozawa Yuki		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Target students	教育、経済、薬学、水産、1?4年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hosaka nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	環境科学部4階 保坂教員室は環427 友澤教員室は環439		
担当教員TEL/Tel	保坂095-819-2728 友澤095-819-2784		
担当教員オフィスアワー/Office hours	保坂木曜16時00分-17時00分 友澤月曜16時00分-17時00分		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	公害・環境問題を環境社会学の観点から考察する。政府、企業、専門家との対立や協力の相互作用のなかでの市民運動の役割について、様々な視点から議論できる知識と素養を養う。長崎県と関係のある環境問題についても触れる。		
授業到達目標/Course goals	公害・環境問題を環境社会学の観点から説明できる(11)。企業、行政、専門家、市民の役割や対立点を説明できるようになることも目指す(3)。長崎県内の環境問題を整理して問題点と解決策を発表できる(7)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons(1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	定期試験80%、レポート20%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	ニュースや新聞を読むときに、授業で学んだ用語を想起して社会分析をしてみる。		
キーワード/Key word	新しい社会運動、エコファシズム、公共圏、リスク社会、水俣病、カネミ油症、原発事故、長崎県		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	参考書は適宜紹介する。プリント配布、映像の視聴を行う。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	授業外でも環境問題に関心を持ち、新聞を読むこと(週平均2時間程度)。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業内容で得た知識を利用し、報道される環境問題を掘り下げて考える習慣をつけてほしい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1	環境運動分析: 環境社会学への誘い(保坂)		

2	社会運動論 緑の党（保坂）
3	エコファシズム（保坂）
4	公共圏（保坂）
5	コミュニケーション的合理性と住民参加（保坂）
6	環境運動と地域（保坂）
7	日本の環境運動序論（友澤）
8	1960?70年代の市民・住民運動（友澤）
9	「開発反対運動」の含意とは（友澤）
10	「公共性」をめぐる市民・住民の模索（友澤）
11	「公害」を問う（友澤）
12	「救済」をめぐる当事者・行政・企業・市民社会の模索（友澤）
13	「持続可能な環境」像を考える（友澤）
14	「快適な社会」をめぐるわたしたちの模索（友澤）
15	総括講義（保坂）
16	試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2018/11/16		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587018501	科目番号 / Subject code	05870185
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12931_005		
授業科目名 / Subject	環境と社会生活 (環境問題の歴史から学ぶ) / The History of Environmental Problems		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	太田 貴大 / Ota Takahiro, 宮西 隆幸 / Miyanishi Takayuki, 関 陽子 / Seki Yoko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	太田 貴大 / Ota Takahiro		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	太田 貴大 / Ota Takahiro, 宮西 隆幸 / Miyanishi Takayuki, 関 陽子 / Seki Yoko		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Target students	全学		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	takahiro nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Instructor office	環境科学部4階454室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	Eメールで連絡してください。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	一般に環境問題は80年代以降世界的に知られるようになったと言われているが、それ以前にも大規模な自然破壊や、これにともなう生体の健康に与える深刻な影響が報告されている。この講義ではそれらの事例を踏まえながら、環境保護をうたえる立場を模索することとする。		
授業到達目標 / Course goals	日本や海外における1980年代以前の環境問題の歴史について、分子生理学、マクロ生物学、環境思想のそれぞれの領域から説明できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて 欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	各講義ごとのレポートによる評価 (授業内の課題100%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法 ) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	環境破壊、環境影響因子、社会システム		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	特に指定しない。資料は必要に応じて配布する。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	授業外でも環境問題に関心を持ち、記事などを読むこと (週平均2時間程度)		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	今日の世界的な時事問題を考えるにあたって、何が問題なのかを考える視点を習得してゆきましょう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method	
1	後期更新世の巨大哺乳類大量絶滅の原因は、ヒトか環境か? その1 前提知識の獲得と情報の提示	A B	

2	後期更新世の巨大哺乳類大量絶滅の原因は、ヒトか環境か？ その2 ヒト説の確認、ヒト説の賛否について議論	A B
3	後期更新世の巨大哺乳類大量絶滅の原因は、ヒトか環境か？ その3 環境説の確認、ヒト説と環境説に分かれて議論	A B
4	有史以前のフクロオオカミ絶滅の原因は、ヒトかディンゴか？ その1 前提知識の獲得と情報の提示	A B
5	有史以前のフクロオオカミ絶滅の原因は、ヒトかディンゴか？ その2 ディンゴ説の確認、ディンゴ説の賛否について議論	A B
6	有史以前のフクロオオカミ絶滅の原因は、ヒトかディンゴか？ その3 ヒト説の確認、ディンゴ説とヒト説に分かれて議論	A B
7	生存環境について 過去の環境問題の発生と対策について時系列的な考え方を教員から提示 最も関心をもつ（過去の）環境問題について個人単位で列挙	A B
8	環境変動への生物の適応 7回を踏まえてグループに分かれて議論 ?0解決済み、?A対策がこうじられ解決に向かっている、?B解決する見込みが立っていない、?C今後発生が予測できる環境問題に分類 グループの議論を簡潔にまとめ共有 環境問題に関する知識の獲得方法と考え方についても考えてもらう	A B
9	環境因子の遺伝子へのインパクト 放射線の生物影響に関する知識を教員より提供 現在見られる核をめぐる諸問題の発生と今後のあり方についてグループで議論 <特別講師：伊藤 晋敏>	A B
10	環境問題発生と抑制に関する社会と個人の責任 自分たちがどのように取り組んでいくべきかについてグループ単位で提案、共有	A B
11	環境破壊の論理 人間にとって自然とは何か 教員、学生同士の対話・テーマに関するグループでの議論	A B
12	環境倫理の歴史 自然は人間にどのように考えられてきたか 教員、学生同士の対話・テーマに関するグループでの議論	A B
13	近代社会における人間と自然 教員、学生同士の対話・テーマに関するグループでの議論	A B
14	近代社会における人間と自然 教員、学生同士の対話・テーマに関するグループでの議論	A B
15	「自然の価値」をめぐる対立を考える（捕鯨問題から） 教員、学生同士の対話・テーマに関するグループでの議論	A B

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2018/11/22		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587043701	科目番号 / Subject code	05870437
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12911_005		
授業科目名 / Subject	環境と社会生活 (生態系と社会)COC+ / Ecosystem and Society		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	杉村 乾 / Ken Sugimura, 関 陽子 / Seki Yoko, 山本 裕基 / Yamamoto Yuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	杉村 乾 / Ken Sugimura		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	杉村 乾 / Ken Sugimura, 山本 裕基 / Yamamoto Yuki		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Target students	全学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-sugimura nagasaki-u.ac.jp, y-yamamoto nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更 して送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	環426, 環451		
担当教員TEL/Tel	095-819-2719, 095-819-2724		
担当教員オフィスアワー/Office hours	杉村: 水曜日午前10時半?12時、木曜日午前10時半?12時 山本: 木曜日午前9時?10時半		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	最初に、生態系、生態系機能、生態系サービスについて一般論として説明した後、生態系サービス について長崎県の事例を交えつつ、個別に説明する。その後、社会の方へ力点を置き、持続的な社会 を維持するための経済的な仕組み、法や制度、地域の取り組みなどについて紹介し、環境問題に 関連する対策について説明する。		
授業到達目標/Course goals	生態系、生態系機能、生態系サービス、社会的な取り組みなどについて、一般論や典型的な事例な どを提示しつつ、基礎的なことを学び、生態系が人間社会にとって欠かせない、環境の重要な要素 となっていることが説明できる。また、生態系と社会の関係が現代あるいは長崎県の環境問題とど のように深く関わっているか、基礎的なことが説明できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	内容理解確認小テスト (10点 x 6回 = 60点) + プレゼンテーション課題 (20点) + レポート課題 (20 点) = 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法 ) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	授業時間外学習に充てる時間が3時間ある		
キーワード/Key word	生態系サービス、環境問題、長崎県の事例		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	資料をLACSに掲載する		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites, etc.	なし		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)	とくになし		
学生へのメッセージ/Message for students	地球規模の気候変動、生物多様性の急激な低下、様々な災害から生活環境の快適性に至るまで、生態系は我々の生活に大きく関わっています。ここで学ぶことは初歩的なことですが、大事な知識の1頁に加えましょう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	イントロダクション、環境問題とは何か (杉村)
2	生態系の働き：ごく基本的なこと
3	生態系サービスについて (杉村)
4	生態系サービスについて (2)
5	生態系サービスと環境問題 (1) 環境汚染 (杉村)
6	生態系サービスと環境問題 (2) 水俣病について
7	生態系サービスと環境問題：グループワーク (1) (杉村)
8	生態系サービスと環境問題：グループワーク (2)
9	生態系サービスと環境問題 (3) 地球規模の気候変動 (杉村)
10	生態系サービスと環境への取り組み：世界各地の事例
11	経済政策の基本 (1) 市場の役割と失敗 【山本】
12	経済政策の基本 (2) 環境税・補助金
13	経済政策の応用 (1) 生態系保全と経済政策 【山本】
14	経済政策の応用 (2) 生態系サービスの価値推定
15	環境保全政策のまとめ 【山本】